

利便性、経済性に優れた パンク修理材が注目集める

「ガソリンスタンドや自動車整備工場で、ニシノ式パンク修理材が注目されている」。ニシノ式パンク修理材とは、ニシノコーポレーション（西野達司社長、本社〓福岡市南区）

「ガソリンスタンドや自動車整備工場で、ニシノ式パンク修理材が注目されている」。ニシノ式パンク修理材とは、ニシノコーポレーション（西野達司社長、本社〓福岡市南区）

ニシノコーポレーションが積極的な拡販策

が開発、販売した「TUTU BELLEST・NT-1」だ。

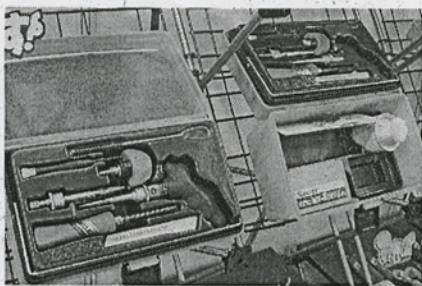
すでに販売から約30年が経過、各種の改良を経て、現在の最新モデルは「NT-1」。

ニシノ式の特徴は、タイヤのパンク箇所に挿入するキリが取外し可能で、修理材のプラグを挿入されるパイプ状の構造（ガイドパイプ）となっていること。このパイプの中心にプラグ（外面修理）やプラグパッチ（内面修理）を入れ、空気の漏れ

を止める。この工法だと、パンク孔を大きくせずに最小限で修理、加硫剤と走行熱でタイヤと一体化が図れる（同社・西野達也常務）という。

従来の工法（外面修理）と比べて、今年に入り、

前年の約2倍、年間5千セットの販売を目指す。とくにパンク修理の多いガソリンスタンドやタイヤショップ、カーショップで話題になっている。



年間5千セットの発売を目指す

これまでの地域単位取り扱い代理店体制を見直し、エンパイヤ自動車やイヤサ力などの広域機械工具商社主体の販売体制に切り換え、同社セールの同行営業を通じ、積極的な実演販売で拡販策を展開する方針。新年度の販売計画では



発行所
日刊自動車新聞社